

プロジェクト名： *Connected Industries 推進のための協調領域データ共有・AIシステム開発促進事業*

研究開発の目的

- Connected Industries政策における議論では、データ共有等の協調領域の最大化と最先端のAI技術を用いたデータ利活用の広がりにより、グローバル競争での日本の勝ち筋を実現することを施策のゴールとしている。
- 本事業では、AI SaaSとデータ協調によるAI・データエコシステムの構築を実現することにより、Connected Industriesの加速を目指す。具体的には、グローバル競争を見据え、より早く、安価に利用可能な①業界横断型AIシステム(グローバル AI SaaS)の創出及び、協調領域拡大のための②グローバル AI SaaSで活用可能な業界共有データ基盤の本格整備等を行う。

プロジェクトの規模

- 実施期間 : 平成31年度～33年度(予定)
- 事業費総額 : 90億円(予定)
- 31年度NEDO予算 : 30億円(予定)

研究開発の内容

Connected Industries重点5分野を対象として、以下の研究開発等を実施する。

① 業界横断型AIシステムの開発(助成)

Connected Industries重点5分野を対象として、業界横断型AI SaaSの開発に着手する。開発にあたっては、生産性や効率の向上、ユーザビリティ、コスト、安定運用、継続性等の観点で優れたものを目指す。

開発は、サービス提供者とユーザーが1対1関係の段階のプロトタイプフェーズと、1対N関係の段階のSaaSフェーズの2段階を対象として実施する。

② 業界共有データ基盤の開発(助成)

重点5分野における国内外のプラットフォームを連携するためのAPIや、サービス開発に繋がるデータ提供の仕組みの開発を行い、複数のデータホルダーが連携した統合プラットフォームの構築を行う。また、当該プラットフォームの有用性を検証するため、当該プラットフォームのデータを活用した具体的なサービスの開発及び効果の検証を行う。

開発の実施にあたっては、リアルタイム性、ブロックチェーンの活用等、技術的に高度な仕組みを追求する。また、過去の事業で検討を行ったデータプロファイルや標準API等の検討結果も踏まえて実施する。

成果適用のイメージ

最先端のAI技術を用いた
業界横断型AIシステム
(Global AI SaaS)の創出

利活用されるデータ量の拡大
協調領域の拡大

